日本海新聞・児童生徒 新聞感想文コンクール

第9回

最優秀作品紹介

「今を知り　過去を学んで　明日を読む」を代表標語にした第76回新聞週間が15日から、始まる。新聞週間にちなみ「第9回日本海新聞・児童生徒新聞感想文コンクール」（新日本海新聞社、日本海新聞を発展させる会主催、鳥取県教育委員会後援）の最優秀賞受賞作品を紹介する。

コンクールは児童生徒が新聞に親しみ、読んだ記事の感想文を書くことで読解力や表現力、社会への関心を高めてもらうのが狙いで毎年実施している。

今回は、県内の個人と学校18校から、小学生の部51点▽中学生の部111点▽高校生の部384点―の計546点の応募があった。

対象記事は、身近に起きた事象を報じた内容で多岐にわたっていたが、新型コロナウイルス禍に関連した内容は減り、近年、多発する自然災害やデジタル社会を反映した人工知能（AI）の進展や技術革新、性的マイノリティーに関する社会の動きなどの内容が多かった。ほかにウクライナ侵攻など、先行きの見えない世界の紛争、核兵器廃絶問題などにも関心を示していた。

※作品は一部用語の新聞表記への変更を除いて原文のまま。

小学生の部

岡本（おかもと）　あおいさん（琴浦町立聖郷小6年）

6月21日付日本海新聞

「米子市議会で初の要約筆記対応」を読んで

私は聴覚に障害のある方のコミュニケーション方法は手話が主なものだと思っていました。しかし、この記事を読んで、聴覚障害者のうち、手話を使いこなせるのは2割程度の方のみということ、難聴者や中途失聴者のコミュニケーションの手段は要約筆記などの文字情報が主だということを初めて知りました。

2割という数の低さにおどろきましたが、私も今、音を失ったら、すぐには手話を使いこなせません。文字を紙に書いたり、身ぶり手ぶりで伝える方法しか思いつきません でした。それに、身近な人たちに手話を理解してもらう必要もあります。2割という数字も理解できる気がしました。そして、要約筆記の大切さも分かりました。

この記事を読んでしばらく後に、手話通訳の方もおられる講演会に参加しました。最後の質問の時、年配の難聴の方が、「古い手話を使いますが、よろしくお願いします」と手話で伝えられ、質問をされていました。どこかに難しい手話があるのかな、と思いましたが、通訳の方はスムーズに対応されていました。

記事と講演会で見た場面を通して、思ったことがあります。

情報を知りたくても、その時に必要な援助がないと、知る機会を逃してしまう方たちがおられます。生活をしていく上で、情報は大切です。何もわからない状態は、自分だけ取り残されたようで心細いと思います。難聴の方でも、要約筆記のほうが理解しやすい、手話のほうが理解しやすい、というように、その方たちを支える支援もひとつだけではなく多様なこともわかりました。これから、身近な場面でも、多様な支援がどんどん広がっていくといいな、と思いました。

すぐに要約筆記や手話は覚えられませんが、少しずつ勉強したいと思います。まずは、困っている方に目を向けたり、そばにいることから始めていきたいです。

「議会や行政の考え知れた」

米子市議会で初の要約筆記対応

難聴、中途失聴者 一般質問を傍聴

障害者支援も多様性を

受賞コメント

この記事で要約筆記のことを初めて知りました。聴覚障害者の方はみけんなが手話を使えると思っていたけれど、約2割しか使えないと知ってびっくりしました。新聞はインターネットでは分からない地域のことが書かれているので、何度も読み返すことできて良いと思います。

中学生の部

山本（やまもと）　結羽（ゆう）さん（鳥大付中2年）

6月13日付日本海新聞

「手塚治虫ＡＩが新作　ブラック・ジャック今秋公開」を読んで

「AI」に漫画を描かせる!? 新聞記事の見出しを見て、私はこう思った。

私は小説派なのであまり漫画は読まないが、手塚治虫さんの漫画は大好きでよく読んでいる。特に好きな漫画は「ブラック・ジャック」だ。手塚治虫さん独特の表現の繊細さ、主人公の医療技術の素晴らしさに感銘を受け、何度も読み返すほど大好きな作品だ。この作品には最終回らしきものはあるが、その話が本当に最終回なのか分からないままになっているので、ずっと続きが気になっていた。本当にAIで手塚漫画を描くことができるのだろうか。

AIとは、人工知能のことでコンピューターを使って学習・推論・判断など人間の知能の働きを人工的に再現したものである。

漫画家は、自分の頭の中に浮かんでいる世界を物語にすると思うので、私は「手塚作品をAIが学習したら漫画を描くことも可能なのでは」と考えた。

実際に2020年に作られた漫画「ぱいどん」は、たくさんある手塚作品をAIに学習させてキャラクターなどを作成したのだが、絵のタッチなどは本物と瓜二つだった。人間とAIの共作でここまで手塚作品に近づけるとは、と驚いた。このような手法でブラック・ジャックの新作を作れば手塚さんが描いたものと同じくらい面白い作品が出来上がるのかもしれない。

しかし、同時に少し複雑な気持ちもある。最終回がなく終了し、謎に包まれているということも面白いし、手塚さんが描いた話で終わらせたいと思ってしまうのだ。

私の複雑な思いと同じようにこのプロジェクトには賛否両論がある。どれだけAIに手塚作品を学習させても完璧には手塚さんの漫画にはならないと思う。「唯一無二」の漫画だからだ。

しかし、今回のAIはあくまで人間のアシスタントとして使用し、手塚さんの漫画を越えることが目的ではなく、「挑戦」が目的である。実際に、手塚さんも生前、漫画に対する概念を変えることや、漫画を魅力的な作品にするために多くの「挑戦」をしてきた。その挑戦する気持ちが受け継がれているのだ。

記事の中で手塚さんの息子さんは「本人並みの水準は半分無理だと思ってますが、挑戦するのは何よりも重要なこと」と言っている。AIにどれだけ手塚作品を学習させたとしても本人に匹敵するほどの漫画を描くことはできないけれど、手塚さんも大切にしてきた「挑戦」という気持ちを持つことは何よりも大切だと思う。AIはめざましい進化を遂げているが、名作に匹敵するほどのものを作ることはできない。だが、挑戦することで手塚作品の素晴らしさ、手塚治虫さんの偉大さに気付くことができるのではないか。

手塚治虫に挑んだAIと人間が作り上げる新生ブラック・ジャック。どのような話になっているのか、今秋の公開が楽しみだ。

「ブラック・ジャック」の新作について記者会見する「TEZUKA2023」プロジェクトのメンバーら＝12日午後、東京都内

TEZUKA2023
ブラック・ジャック
新作制作
今秋公開
週刊少年チャンピオン

手塚治虫「ＡＩ」が新作

ブラック・ジャック、今秋公開

手塚治虫の作品を学習した人工知能（AI）とクリエーターらが新作漫画を共同制作する「TEZUKA2023」プロジェクトが12日、今年誕生50周年の人気作「ブラック・ジャック」の新作を今秋、同作が掲載されている漫画誌「週刊少年チャンピオン」で公開すると発表した。

プロジェクトメンバーがブラック・ジャックの既存の物語の構造や登場人物の人間関係などをデータ化。AIの最新の言語モデル「GPT-4」が作成したシナリオや、画像生成AIが生み出すキャラクター・漫画のこま割りを基に、メンバーが漫画を制作する。

手塚治虫の長男の真さんは記者会見で「AIを漫画家にするのではない。あくまで人間のクリエーターをサポートするための『研究』」と強調。「手塚治虫が生きていたらAIを使って、その見本を示したと思います。（本人並みの水準は）半分無理だろうと思っていますが、挑戦するのは何より も重要なこと」と話した。

ブラック・ジャックは、無免許の天才外科医が活躍する手塚の代表作。

同プロジェクトは大学教授らで構成。AIが手塚作品を基にシナリオ原案などを作った漫画を2020年に発表している。

受賞コメント

「ブラック・ジャック」は、何度も読み直すくらい大好きです。将来医者になりたいので、医療技術や専門用語の勉強にもなっています。感想文は、自分の考えばかり述べないように、事実関係や世間の反応を盛り込みました。人工知能（ＡＩ）が、手塚さんの意思をどのように引き継いで新作を描くのか楽しみです。

高校生の部

村上（むらかみ）　咲綺（さき）さん（鳥取西高2年）

5月19日付日本海新聞

「18歳未満医療費　全市町村完全無償化」を読んで

私は、将来医療関係の仕事に就きたいと思っているので、この記事を選んだ。初めて、鳥取県が医療費の無償化を目指していることを知り、興味を持った。私は医療費の無償化にあまり賛成ではない。

医療費には医師の診察を受ける医科診療費、歯医者で治療や検診を受ける歯科診療費、処方された薬を受け取る調剤薬局費などがある。医療費が無償化されると、家計支出を大きく抑えられるという大きなメリットがある。

そして、医療費無償化は少子化対策にとって重要である。大人に比べて受診する機会の多い子どもの医療費を支援するために、全国では医療費助成制度が導入されている。無料の地域は受診時にお金がかからないことから、子どもに何かあったときも費用を気にせず医療機関にかかれる。

しかし、医療費無償化が実施されている自治体の一部では、過剰受診が問題となっている。過剰受診とは、病院に行く回数が多すぎることである。些細な症状なら市販薬を使うべきだと考える人が多い一方で、医療費がかからないのなら医師に診てもらった方が安心だと考える人もいる。

過剰受診が増えれば増えるほど国の財源が少なくなっていくため、医療以外の部分に影響が出るかもしれない。無償化ではなく助成に切り替えられる恐れや、増税といった国民に影響が出る問題まで発展する可能性もある。実際、持続的な助成を行うために、制度を見直す自治体もある。兵庫県三田市では、中学生以下の医療費を無償化としていたが、税収の減少にともない、患者の一部負担や所得制限の導入を決めた。

鳥取県は現在、0～18歳までを対象に入院の場合、患者が医療機関の窓口で支払う額の上限を医療機関ごとに1日1200円で月15日まで、通院では530円で月4日までと定め、それ以外の部分を県と市町村で半分ずつ助成している。これを24年度から自己負担のない全額助成にする方針である。

救急車の適正利用についてもそうだが、無料というのはなんでもモラルハザードを絶対引き起こすと思う。当初は「ありがたい制度だな」と思ったとしても、時間がたつにつれ「あって当たり前」の制度になってしまう。「あって当たり前」の制度になってしまうと、兵庫県三田市のように無償化から一部負担になった時に困る人が出てくると思う。

この問題はこれからの社会にとって重要な問題だと思う。なので今後、鳥取県の医療費の無償化がどうなっていくのか、新聞記事やニュースの報道内容に注意して見守りたいと思う。

18歳未満医療費

全市町村完全無償化

県と確認　全国初、来年度導入へ

18歳未満の医療費無償化や子育て支援について話し合う自治体の首長ら＝18日、鳥取県庁

鳥取県は18日、18歳未満の医療費を完全無償化する方針を市町村と確認した。

国で初めて、2024年度から助成する無償化を提案する。子育て世帯の経済負担を減らし、ほとんどの市町村が賛成を表明。「本来なら国が全国一律の医療費助成制度を考えてほしい」との意見や、他市町村が独自に設ける償還制度などとの調整や財政捻出の持続可能性について、コンビニ受診の増加、医療体制の確保」を懸念する声も一部であった。

県内自治体の首長が県の提案を話し合う「県・市町村子育て支援会議」で協議した。18歳未満医療費は、1日当たり入院1200円、通院530円の患者負担を発生する。県内では24年7月から目野町が独自で完全無償化を実施している。

会議では、県が市町村と共に個人負担分を3分の1を負担し、「本来は国が責任を持って一律に無償化すべき大切な制度」などと強調し、最終的に全市町村の承認を得た。県議会6月定例会に提案する補正予算案に、システム改修などに伴う市町村の負担を経費を盛り込む。（松本紗子）

受賞コメント

文章を書くのはあまり得意ではないので、受賞は驚いています。将来は鳥取で医療関係の仕事に就きたいと思っているので、医療費の無償化については関心がありました。兵庫県三田市では過剰受診で困ることになりました。人口は少ない鳥取県ですが、問題になるかもしれません。今後も注視していきたいです。

入賞者一覧

【小学生の部】最優秀賞＝岡本あおい（聖郷６年）▽優秀賞＝高塚侑生（船上６年）小西葵佑子（義方６年）水石詩葉（浜村５年）▽優良賞＝北村舞（小鴨６年）寺岡優希（城北６年）岡垣美咲（鳥大付５年）野間田菜緒（船上５年）山田流雲（城北６年）▽優秀学校賞＝船上小

【中学生の部】最優秀賞＝山本結羽（鳥大付２年）▽優秀賞＝岡田明子（湯梨浜学園３年）林英未流（智頭３年）横山英里香（江山学園９年）▽優良賞＝前田蒼衣（湯梨浜学園２年）益田胡桃（智頭２年）山本真央（江山学園９年）金子満星（湯梨浜学園１年）池本靖悠（桜ケ丘１年）▽優秀学校賞＝湯梨浜学園中

【高校生の部】最優秀賞＝村上咲綺（鳥取西２年）▽優秀賞＝小久江凜奈（鳥取西２年）西本光（同）鳥飼綾乃（湯梨浜学園１年）▽優良賞＝山尾純青（鳥取西２年）諸家千和（同）新結喜（鳥取湖陵３年）山田唯加（青谷３年）吉田誠宏（鳥取西２年）▽優秀学校賞＝鳥取西高

（C）新日本海新聞社　無断複製・転載を禁じます